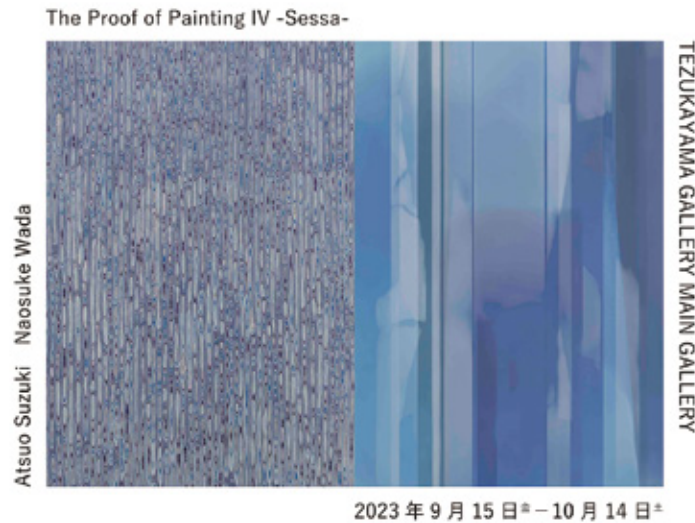


絵画の証 IV -切磋-



鈴木淳夫 和田直祐

このたび、TEZUKAYAMA GALLERYでは鈴木淳夫(b.1977)のキュレーションによる企画展「切磋-絵画の証IV」を開催いたします。今展は企画者である鈴木と関西で活動するペインター、和田直祐(b.1983)の2人展形式となります。

鈴木は1977年に愛知県に生まれ、2001年に静岡大学大学院教育学研究科を修了。現在まで生まれ故郷の愛知県豊橋市を拠点に活動している画家です。自身の作品を「彫る絵画(Carved Painting)」と称し、幾重にもパネルの上に塗り重ねた絵具の層を彫刻刀で削り出し、様々な図柄を描く画風で制作を重ねています。鈴木が作り出す画面からは作家の息づかいすらも感じ取れる程の緊張感と「彫る」という反復行為による痕跡の総体がイメージとなり、鑑賞者に提示されます。

和田は1983年兵庫県に生まれ、2013年に京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)大学院芸術研究科を修了。現在は大阪に拠点を移し、活動をしているペインターです。薄く溶いた絵の具を幾層にも塗り重ねる古典絵画の技法「グレーズング」を参照しながら、光と空間性をテーマに、高透明のメディウムを用いて独自の絵画表現の構築を試みています。透過性の高い画材を用いて、何層にもレイヤーを重ねる事で生まれる繊細な色層と奥行きを持った画面は、展示空間の光そのものを取り込み、漂流し続ける氷河のように流動性を伴った鑑賞体験を生み出し、見るという行為への再考を促します。

今展のタイトルとなっている「絵画の証」展は2003年、2004年にGallery Yamaguchi kunst-bau (山口孝氏)の企画で開催されました。本企画の第1回目(2003年)の出展作家であった鈴木淳夫が展覧会タイトルを継承するかたちで、2021年にTEZUKAYAMA GALLERYのVIEWING ROOMを会場に「絵画の証Ⅲ -東海版-」が開催されました。約2年振りとなる今回の「絵画の証」展は前回の企画者でもある鈴木が、独自の手法で絵画制作を続けている和田直祐の作品に出会った事から端を発しています。

共通して、自身の絵画の基盤にレイヤー構造を用いている両作家ではありますが、素材の選択や最終的なマニエールの処理において、明確な差異、絵画に対する意識の違いを感じ取る事ができます。会期中の9月30日(土)には座談会形式で鈴木、和田によるトークイベントの開催も予定しております。

是非、この機会にご高覧賜りますようお願い申し上げます。

アーティスト・ステートメント / 鈴木淳夫

切磋琢磨したい。

今回の絵画の証展のテーマです。

2年前の絵画の証Ⅲでは、既にある作品によりグループ展を企画しました。

浅野弥衛、国島征二、山田純嗣それぞれのアトリエを訪問し話を伺ったり、作品を選ばせてもらいました。自ら企画をすることで、その作家の姿勢や制作方法などをより身近に感じるようになりました。

そのことに味をしめ、今回は自分より若くて、独自の手法で作品を制作している和田直祐さんに声をかけました。

お互いに連絡を取り合いながら展覧会を計画することは得るものが多いだろうと考えました。

「デッサンをしているように描いている」という言葉を和田さんから聞いたのがもうすでに収穫です。

今回の「絵画の証」展では私と和田の作品サイズと色を話し合い、隣り合わせで展示します。

彼の作品に挑むような、切磋琢磨するような展開になればと思います。

作家略歴 | BIOGRAPHY

鈴木 淳夫 (すずき・あつお)

愛知県在住

- 1983 愛知県豊橋市生まれ
2001 京静岡大学大学院教育学研究科 修了

主な個展

- 2023 「彫る絵画 -PLAY-」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
「色の年輪」 | ギャラリー麟, 東京
- 2022 「彫る絵画|関係」 | AIN SOPH DISPATCH, 名古屋
「彫る絵画-緑-」 | ギャラリー麟, 東京
「彫る絵画-制作 (再)制作-」 | ギャラリーサンセリテ, 豊橋
- 2021 「彫る絵画-モノクローム-」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
「彫る絵画-銀-」 | ギャラリー麟, 東京
- 2019 「彫る絵画-三原色-」
| TEZUKAYAMA GALLERY / AIN SOPH DISPATCH

主なグループ展など

- 2023 「切磋-絵画の証IV-」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
「ART OSAKA 2023」 | 大阪市中央公会堂, 大阪
「絵具の作法 エヴァンネスビット・鈴木淳夫・安田知司」
日本橋三越コンテンポラリーギャラリー, 東京
「AUTO MOBILE COUNCILt2023」 | 幕張メッセ 千葉
- 2022 「ARTTAIPEI 2023」 | 台北世界貿易センター, 台湾
「鈴木と鈴木 ほるとほる」 | 桜ヶ丘ミュージアム, 愛知
- 2021 「ART FAIR TOKYO 2021」 | 東京国際フォーラム, 東京
「ART OSAKA 2021」 | 大阪市中央公会堂, 大阪
- 2020 「ART NAGOYA 2020」 | ホテルナゴヤキャッスル, 愛知
「Art TNZ」 | TERADA ART COMPLEX II, 東京
- 2019 「ART TAIPEI 2019」 | 台北世界貿易センター, 台湾
- 2018 「PLAY vol.2」 | 高浜市やきもの里 かわら美術館, 愛知
- 2017 「いくつかの岐路 - 所有について」 | 旧門谷小学校, 愛知
- 2015 「現代美術展」 | ギャラリーサンセリテ, 愛知
「豊穡なるもの-現代美術 in 豊川」 | 桜ヶ丘ミュージアム, 愛知

和田 直祐 (わだ・なおすけ)

大阪府在住

- 1983 兵庫県生まれ
2019 京都造形芸術大学(現: 京都芸術大学)大学院修士課程
芸術研究科芸術表現専攻ペインティング領域 修了

主な個展

- 2023 「Whole set of No.2 to 8」 | GALLERT RIN 麟, 東京
- 2022 「Pathway」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
- 2016 「Terrarium」 | 山中suplex, 滋賀

主なグループ展など

- 2023 「切磋-絵画の証IV-」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
「間 そうぞうのよはく」 | graf porch, 大阪
- 2022 「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2022」 | 福岡国際会議場
福岡
「ART OSAKA 2022」 | 大阪市中央公会堂, 大阪
「can (not) reach」 | EUKARYOTE, 東京
- 2021 「DELTA 2021」 | シーサイドスタジオCASO, 大阪
「full-size room」 | GALLERY 麟, 東京
WHAT CAFE×DELTA 「EXPANSION」 | WHAT CAFE, 東京
「ART OSAKA 2021」 | 大阪市中央公会堂, 大阪
「Kyoto Art for Tomorrow 2021」 | 京都文化博物館, 京都
- 2020 「類比的鏡 / The Analogical Mirrors」 | 山中suplex, 滋賀
「art TNZ」 | TERADA ART COMPLEXII, 東京
「DELTA Experiment」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
「FOCUS Four Painters」 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
- 2019 「大鬼の住む島」 | WAITINGROOM, 東京
「ARTISTS' FAIR KYOTO 2019」 | 京都文化博物館別館, 京都

作品情報 | ARTWORKS



左: 鈴木淳夫
Carved Painting_23.04.08
2023
acrylic on wooden panel
H460 × W460 × D23 mm

右: 和田直祐
Drawer within drawer
2023
urethane paint on wooden panel
H800 × W380 × D35 mm
*個人蔵



「絵画の証Ⅲ - 東海版 -」 / TEZUKAYAMA GALLERY, Osaka (2021)

Photo by Hyogo Mugyuda

展覧会詳細 | EXHIBITION INFORMATION

鈴木淳夫 | Atsuo Suzuki 和田直祐 | Naosuke Wada

絵画の証Ⅳ- 切磋 -

2023.9.15 [Fri] - 10.14 [Sat]

営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日
OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holiday
お問合せ: info@tezukayama-g.com / 岡田 (TEZUKAYAMA GALLERY)

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F
Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN
tell: +81 6 6534 3993 / instagram: tezukayama_g

